

あまつのりと  
天津祝詞

一揖 二拝 四拍手

たかあまはら もとつみおやすめおほかみ あまた かみがみ つど とことは  
高天原に 大天主太神 数多の天使を集へて 永遠に  
かみつま  
神留ります。

かむろぎかむろみ みことも  
神漏岐神漏美の御言以ちて

かむいざなぎのみこと つくし ひむか たちはな をど あはぎ  
神伊邪那岐尊 九天の日向の立花の小戸の阿波岐  
がはら みそぎはら たまとき な ま  
ケ原に。御禊祓ひ玉ふ時に成り坐せる。

はらひど おほかみたち  
祓戸の大神等

もろもろ まがことつみけがれ  
諸々の曲事罪穢を。

はら たま きよ たま まを こと よし  
祓ひ玉へ清め賜へと申す事の由を

あまつかみ くにつかみ やほよろづ かみたちとも  
天津神、国津神、八百万の神等共に

あめ ふちこま みみふりたて きこしめ  
天の斑駒の耳振立て聞食せと

かしこ かしこ まを  
恐み恐みも白す。

おほもとすめおほかみ まも  
大天主太神 守りたまへ 幸はへたまへ (二回)

かむながら まみちいやひろ おほいつきくになほひぬしのみこと まも  
惟神真道弥広 大出口国直霊主命 守りたまへ

さき  
幸はへたまへ (二回)

(黙禱)

かむながら たまちはへませ  
惟神 霊幸倍坐世 (二回)

四拍手 一拝 一揖

注 複数人で唱える時は『から一緒に唱える。』までは先達が一人で唱える。